

都市再生整備計画 事後評価シート
黒須田川周辺地区

平成23年3月

神奈川県横浜市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	神奈川県		市町村名	横浜市		地区名	黒須田川周辺地区			面積	998 ha		
交付期間	平成18年度～平成22年度		事後評価実施時期	平成22年度		交付対象事業費	1,100 百万円	国費率	40%				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	(河川)黒須田川改修事業(総合流域防災事業) (高質空間形成施設)黒須田川プロムナード整備事業									
			提案事業	(地域創造支援事業)黒須田川環境整備事業 (事業活用調査)水と緑のネットワーク検討調査、黒須田川生物相調査									
	当初計画から削除した事業		基幹事業	(道路)黒須田川河戸橋歩道整備事業 (公園)嶮山公園整備事業		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
			提案事業	(地域創造支援)大場第三雨水調整池環境整備事業		事業の見直しにより削除			影響なし				
	新たに追加した事業		基幹事業	(公園)鶴見川流域・黒須田川地区公園整備事業 (河川)鶴見川圏域流域貯留浸透事業(総合流域防災事業) (地域生活基盤施設)奈良川水辺広場整備事業、住吉の森緑地保全事業		水と緑のネットワーク形成を推進するため事業を追加、また、地区の治水安全度の向上を図るため事業を追加			「公園愛護会活動等への参加者数」の指標を追加				
			提案事業	なし		-			-				
交付期間の変更		当初	平成18年度～平成22年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-						
		変更	-										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ		
	指標1	水のネットワーク整備量	km	3.7	H17	4.3	H22	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期
	指標2	イベント参加者	人/年	45	H17	70	H22		4.3	○	ありなし	川沿いのプロムナードの整備などにより、水のネットワークの充実が図られた。	平成23年4月
	指標3	川掃除の参加者	人/年	200	H17	220	H22		150	○	ありなし	河川への関心が高まり、イベントへの参加が増えた。	平成23年4月
	指標4	公園愛護会活動等への参加者数	人/年	1,035	H20	1,080	H22		357	○	ありなし	市民協働による計画策定により、環境保全活動への参加意識が醸成され、参加者が増加した。	平成23年4月
									○	ありなし	公園整備による利用環境の向上や、新規愛護会の結成などにより、参加者が増加した。	平成23年5月	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ		
	その他の数値指標1	-	-	-	-	-	-	達成度※1	達成見込み	(総合所見)	予定時期		
	その他の数値指標2	-	-	-	-	-	-			-	-		
4)定性的な効果発現状況	・黒須田川で行われるイベントは定着化しつつあり、参加者も増加してきている。また、イベント時には市民の方から行政に「きれいになって良かった」との声が届いている。												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-					
	住民参加プロセス	市民ワークショップ		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 今後の整備にあたって事業説明会など住民の意見を聞く機会を設け、合意形成をはかる					
	持続的なまちづくり体制の構築	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-					

様式2-2 地区の概要

黒須田川周辺地区(神奈川県横浜市) 都市再生整備計画の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値				
黒須田川を中心とした鶴見川など川沿いの川辺の散策路、公園、樹林地と一体となった水と緑のネットワークの形成を図る。 ①黒須田川を中心とした鶴見川など川沿いに緑豊かな川辺の散策路を整備する。 ②黒須田川を中心とした鶴見川など川を親しみやすい川とするために魚道等の整備や親水拠点を整備し、生き物を復活させる。 ③これらの計画を市民との協働により実現させる。	水のネットワーク整備量	単位: km	3.7	H17	4.3	H22	4.3	H22
	イベント参加者	単位: 人/年	45	H17	70	H22	150	H22
	川掃除の参加者	単位: 人/年	200	H17	220	H22	357	H22
	公園愛護会活動等への参加者数	単位: 人/年	1,035	H20	1,080	H22	1,261	H22

奈良三丁目都市緑地

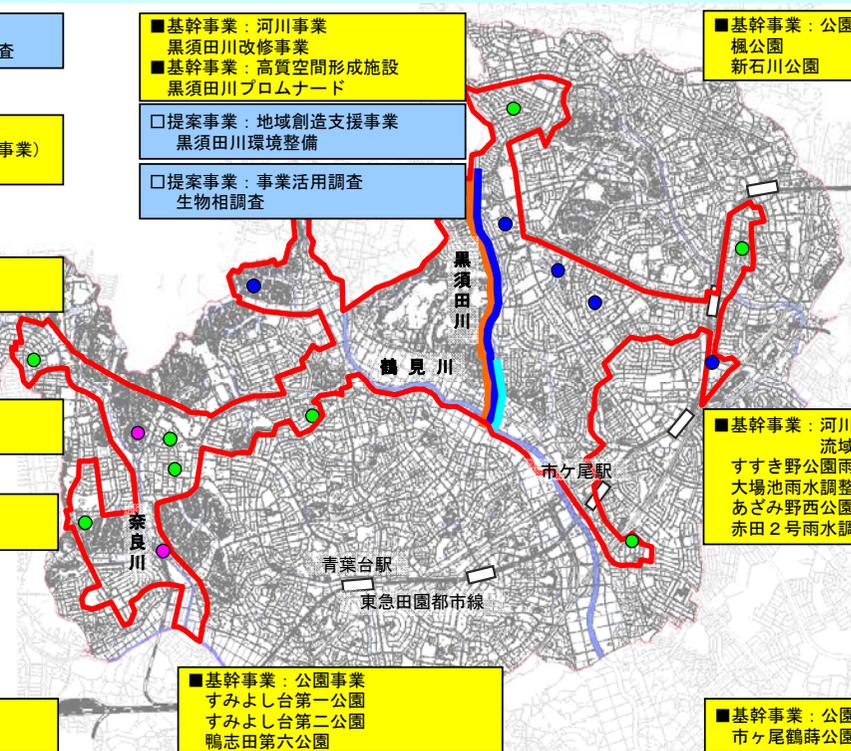


黒須田川環境整備、プロムナード



生物相調査





□提案事業: 事業活用調査
水と緑のネットワーク検討調査

■基幹事業: 河川事業
黒須田川改修事業
■基幹事業: 高質空間形成施設
黒須田川プロムナード

■基幹事業: 公園事業
榎公園
新石川公園

□提案事業: 地域創造支援事業
黒須田川環境整備

□提案事業: 事業活用調査
生物相調査

■基幹事業: 河川事業(鶴見川
圏域流域貯留浸透事業)
新池雨水調整池

■基幹事業: 公園事業
奈良町高丘線下公園

■基幹事業: 地域生活基盤施設
住吉の森緑地保全事業

■基幹事業: 公園事業
奈良三丁目都市緑地

■基幹事業: 河川事業(鶴見川圏域
流域貯留浸透事業)
すすき野公園雨水調整池
大場池雨水調整池
あざみ野西公園雨水調整池
赤田2号雨水調整池

■基幹事業: 公園事業
すみよし台第一公園
すみよし台第二公園
鶴志田第六公園

■基幹事業: 公園事業
市ヶ尾鶴詩公園整備事業

■基幹事業: 公園事業
奈良川水辺広場

水と緑のネットワーク検討調査



新石川公園



奈良川水辺広場



まちの課題の変化

- ・黒須田川沿いに河川管理用通路が整備され、黒須田川の上流部から中流部にかけて未整備区間が解消した。
- ・黒須田川の上流部から中流部にかけて、低水路の整備や河川管理用通路を利用したプロムナードの整備により、親しみやすい川・生物の生息に配慮した川づくりが実現した。
- ・既存緑地の保全・公園整備による「緑の核」の保全と、川沿いのプロムナードや水辺広場の整備による「水と緑の軸」により、水と緑のネットワークが拡充された。
- ・雨水貯留施設など、雨をゆっくり流す治水施設が整備され、治水安全度が向上した。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- ・整備された公園・水辺などの良好な水・緑環境を維持するため、住民と行政とのパートナーシップを継続し、環境保全活動の継続と定着をはかる。
- ・黒須田川下流部においても、低水路やプロムナード、水辺拠点の整備をおこない、親しみやすい川を創出するとともに、黒須田川沿いの連続した歩行空間の確保による、水と緑のネットワーク拡充をすすめる。
- ・鶴見川流域水害対策計画に基づき、雨水貯留浸透施設の整備をおこない、さらなる治水安全度の向上を図る。

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
黒須田川周辺地区

平成24年3月

神奈川県横浜市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	水のネットワーク整備量	km	3.7	4.3	4.3	確定 見込み ●	○	あり なし	4.3	H23年 4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	川沿いのプロムナードの整備などにより、水のネットワークの充実が図られた。
指標2	イベント参加者	人/年	45	70	150	確定 見込み ●	○	あり なし	150	H23年 4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	河川への関心が高まり、イベントへの参加者が増加した。
指標3	川掃除の参加者	人/年	200	220	357	確定 見込み ●	○	あり なし	416	H23年 4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	市民協働による計画策定により、環境保全活動への活動意識が醸成され、参加者が増加した。
指標4	公園愛護会活動等への参加者数	人/年	1,035	1,080	1,261	確定 見込み ●	○	あり なし	1,712	H23年 5月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	公園整備による利用環境の向上や、新規愛護会結成などにより、参加者が増加した。
指標5						確定 見込み ●	○	あり なし		H 年 月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1					確定 見込み ●				H 年 月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標2					確定 見込み ●				H 年 月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3					確定 見込み ●				H 年 月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために行う方策	水と緑の環境の保全	住民が主体となった維持管理活動、イベント開催への行政の協力・支援	地域清掃活動に対する委託契約の実施することにより、維持管理活動が継続して行われている。	特になし。
	治水安全度の向上	施設の点検・清掃業務	整備された施設の機能が正常に維持され、本事業により向上した、地区内の治水安全度が保たれている。	特になし。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	黒須田川下流部における連続した歩行空間の確保	黒須田川下流部に更なる歩行空間を確保するため、本計画を引き継ぐ、2期計画を策定	黒須田川下流部に歩行空間を整備する平成24年度から5か年間の具体的なスキームを立てた。	平成24年度からの、整備の推進に努め、黒須田川下流部の快適な歩行空間の確保を目指す。
	水生生物の生息環境を再生し、親しみやすい河川を創出	親しみやすい河川を創出するため、本計画を引き継ぐ、2期計画を策定	親しみやすい河川を創出するため、平成24年度から5か年間の具体的な河川環境整備のスキームを立てた。	平成24年度からの、河川環境整備の推進に努め、親しみやすい河川の創出を目指す。
	地区内の水と緑のネットワークの拡充	更なる水と緑のネットワークの拡充を目指し、本計画を引き継ぐ、2期計画を策定	水と緑のネットワーク拡充を図るため、平成24年度から5か年間の具体的な緑地保全やプロムナード整備のスキームを立てた。	平成24年度からの緑地保全やプロムナード整備の推進に努め、水と緑のネットワーク拡充を目指す。
	治水安全度の向上	流域貯留浸透事業	地域の治水安全度を向上するため、新たな貯留浸透施設の設置交渉を継続している。	新たな貯留浸透施設の設置に向け、早期の交渉成立を目指す。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項

都市再生整備計画(精算報告)

くろ す だ がわ しゅう へん ち く
黒須田川周辺地区

か な が わ よ こ は ま し
神奈川県 横浜市

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<ul style="list-style-type: none"> ・「水と緑のネットワーク」(黒須田川沿いの川辺の散策路、公園、樹林地と一体となったネットワーク)を形成する。 	鶴見川流域・黒須田川地区公園整備事業 鶴見川圏域流域貯留浸透事業 奈良川水辺広場整備事業 住吉の森緑地保全事業 黒須田川プロムナード整備事業 黒須田川環境整備事業 水と緑のネットワーク検討調査
<ul style="list-style-type: none"> ・黒須田川を中心とした鶴見川など川沿いに緑豊かな川辺の散策路を整備する。 	黒須田川改修事業 黒須田川プロムナード整備事業 奈良川水辺広場整備事業
<ul style="list-style-type: none"> ・黒須田川を親しみやすい川とするために魚道等の整備や親水拠点を整備し、生き物を復活させる。 	黒須田川環境整備事業 黒須田川生物相調査
その他 鶴見川水系河川整備計画及び鶴見川流域水害対策計画に基づく治水安全度の向上を図ります。(鶴見川圏域流域貯留浸透事業)	

